

## ✦ 共英製鋼株式会社

<http://www.kyoeisteel.co.jp/>

### ■ 本 社

〒530-0004 大阪市北区堂島浜1-4-16 アクア堂島西館18階  
Tel(06)6346-5221(代) Fax(06)6346-5210(代)



## Corporate Profile



このパンフレットは、再生紙および環境にやさしい  
植物油系インキを使用しています。

0606F10 DC  
1806R65 SE  
1906R65 SE



共英製鋼グループは  
鉄鋼事業を中核とした  
資源循環型事業を通じて  
社会と共生し  
日本経済と地域社会の発展に貢献する  
企業集団を目指します

行動指針 — Spirit of Challenge

- 高い倫理観を持ち 公正・誠実を旨として行動します
- 進取と変革 挑戦する気概 達成への情熱に満ちた企業風土を醸成します
- 主観によらず 現場に立脚した感覚を重視します
- 人と技術を大切に し 働くことが喜びであり 誇りとなる企業を実現します



通電時の電気炉  
(枚方事業所 枚方工場)

鉄筋コンクリート用棒鋼のトップメーカーであり  
同時に鉄鋼資源循環を担う企業として  
みなさまの信頼とご要望にお応えしてまいります

資源の少ない日本において、鉄スクラップは自給可能な唯一の資源です。この鉄スクラップを原料に、電気炉を用いて鉄筋棒鋼を主とした建設用鋼材を製造し、再び社会に送り出す電炉メーカーは、鉄資源循環における静脈産業として機能しています。

当社は、この電炉メーカーの社会的役割を強く意識し、地域で発生した鉄スクラップを使用して、その地域の建設現場に製品を届ける地域密着型の事業を、各地で展開してまいりました。

また、数千度に達する電気炉のアーチ熱を利用し、医療廃棄物や産業廃棄物の熔融処理を手掛ける環境リサイクル事業のパイオニアとして、資源循環型社会構築の一翼を担っております。

一方で当社は、日本で初めて海外へ進出した電炉メーカーとして、世界各国で事業を展開してまいりました。近年はベトナムにおける鉄鋼事業の拡大や港湾事業への参画、アメリカへの再進出など、更なるグローバル化を推進しております。

今後も引き続き、国内事業の基盤強化と海外事業の拡大により比較優位の体制を構築し、100年企業を目指してまいります。

共英製鋼グループは、社会に貢献したいという志を忘れることなく、確かな品質の製品を安定供給するのはもちろんのこと、すべてのステークホルダーの信頼と要望に応えるため、チャレンジを続け、社業に邁進してまいります。



代表取締役会長  
高島 秀一郎



代表取締役社長  
廣富 靖以



# 私たちは鉄鋼事業を中核とした 「総合リサイクル企業集団」を目指します

ビル、マンションなどの建築物をはじめ、橋梁や道路、自動車など、いたるところで鉄は私たちの暮らしと産業基盤を支えています。日本国内に蓄積されている鉄の総量は、いまや13億トンにも達しており、高度循環型社会の実現のためには、この蓄積された鉄の再利用が欠かせません。私たち共英製鋼は、鉄製品のスクラップ&ビルドという重要なサイクルを担う鉄鋼事業を中核にしながら、さらにその溶融技術を活かして、産業活動と日常生活から発生するさまざまな廃棄物を完全無害化し、資源としてリサイクルしています。この新たなリサイクルシステムの確立を通じて、社会に貢献することが私たちの使命であると考えています。



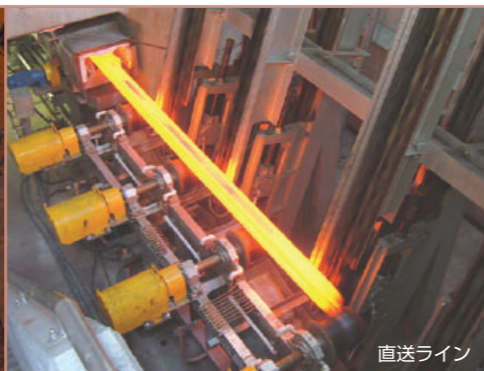
圧延ライン



出鋼



ピレット切断

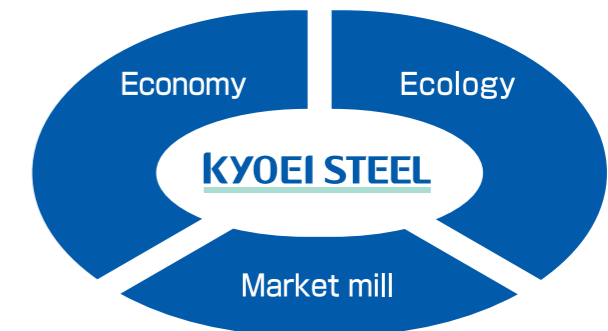


直送ライン



冷却床

## 高度循環型社会のニーズに応える 独自のビジネスモデル



### 経済発展に貢献するサイクル

鉄スクラップをリサイクルし、製品として供給する鉄鋼事業を通じて、私たちは鉄鋼資源循環の一翼を担うとともに、暮らしと産業基盤を支えています。

### 環境保全に貢献するサイクル

産業廃棄物を安全・確実に処理、またシュレッダーダストから燃料ガスを生み出すなど、環境リサイクル事業を通じて環境保全に貢献しています。

### 地域社会に貢献するサイクル

地域で回収した資源を地域に還元。全国の主要地域に製造拠点を持つ共英製鋼グループは、地域社会の発展に貢献しています。

### 鉄鋼事業 鉄スクラップに新たな命を吹き込む

使われなくなった鉄を電気炉で溶融し、新しい鉄として甦らせる鉄鋼事業は、当社の中核事業です。創業以来、半世紀以上にわたって培った技術力を活かし、品質の良い鋼材を安定的に供給。ユーザーの多様なニーズに対応し、市場の信頼を得るために、私たちは挑戦を続けています。

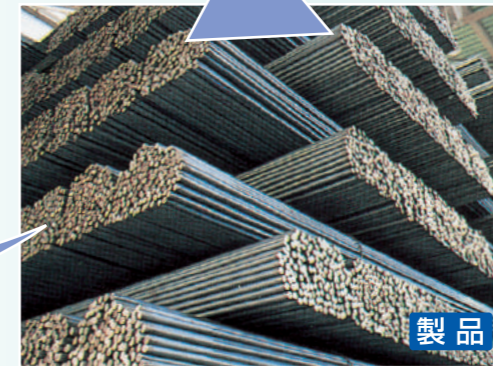
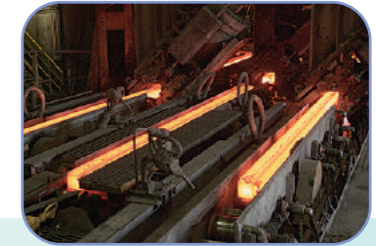
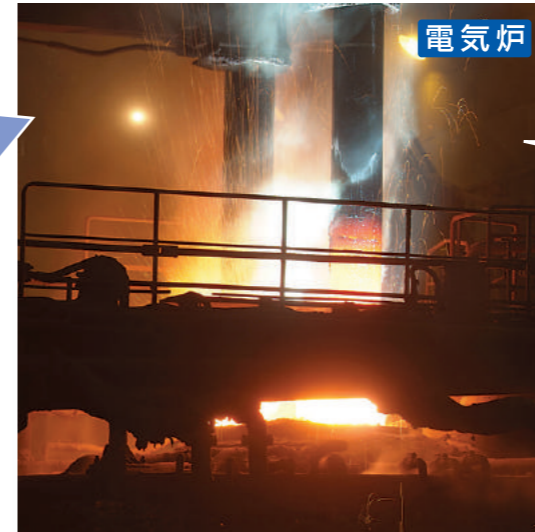
### 環境リサイクル事業 廃棄物を安全・確実に処理する

鉄鋼事業で培った電気炉での溶融技術を、さまざまな産業廃棄物処理に活用する環境リサイクル事業。難処理産業廃棄物、感染性医療廃棄物などを完全無害化溶融し、適切に処理します。またガス化溶融炉による廃自動車のリサイクルにも着手するなど、時代の要請に応えるシステムの構築にチャレンジしています。



## 鉄資源の再生、 それは循環型社会への第一歩

現在、日本の年間粗鋼生産量は約1億トンであり、そのおよそ3割が電気炉によりつくられています。日本の鉄鋼業は、リサイクル、省エネ、環境保全などの分野において、他の製造業に先駆けて積極的に取り組んできました。環境保全に向けたより一層の取り組みが求められる中、鉄スクラップを原料として鉄を製造する電炉業は、その存在意義を高めつつあります。私たちの望みは、一企業の繁栄のみならず、血液が体内を循環するように、鉄資源を日本の社会の中で効率的に循環させ、持続可能な経済成長と地球環境の保全を同時解決する資源循環型社会構造の実現につなげることです。私たちはこれからも社会のために、未来のために、真摯に鉄資源の再生に取り組んでいきます。



鉄のリサイクル

### 新たなシステム・技術に果敢に挑戦 環境にも配慮した機能的な生産ラインを実現

鉄スクラップを電気炉に装入し、高圧電流を流すことにより溶解。不純物を取り除き、精錬した後、圧延成形して鉄鋼製品へ。これが電気炉による鉄鋼生産の流れです。製鋼に要するエネルギーは、鉄鉱石を還元して鉄をつくる方法に比べ3分の1程度であり、地球に優しい省エネ型の製造方法といえます。私たちは良質の鋼材を安定的に、かつ低コストでつくるため、原料の選別から製鋼・圧延に至るあらゆる工程を徹底して研究し、現在の機能的な生産ラインをつくりあげました。同時に、用水の閉鎖型完全循環システムなど、環境への負荷を軽減する各種設備にも積極的に投資を行っています。

また、全国の主要需要地に立地する各工場では、厳格な品質管理ときめ細かなデリバリーで、顧客から高い評価を得ています。さらに、多様化するユーザーニーズに応えるため、ネジ鉄筋・継手の開発に注力し、超高強度鉄筋や特殊鉄筋などの高付加価値品にも対応。需要の実態と動向に即応するマーケット・ミルを目指し、常に進化しています。

### 電炉メーカーとして初めて海外事業を展開 世界を舞台に技術供与・経営指導を推進

長年培った製鋼・圧延技術は、諸外国における事業にも活かされています。伸鉄業からスタートした私たちは、1962年に電炉業に進出。翌年には電炉メーカーとして初めて海外に進出し、台湾において圧延工場の建設協力と技術指導を行いました。これをきっかけにタイ、ブラジル、インドネシアなどで、精力的に海外事業を展開。鉄鋼先進国であるアメリカにも早くから技術供与を行い、技術力にさらに磨きをかけてきました。日本の同業他社にはない、こうした世界20カ国におよぶ海外での経験と実績は、いま私たちの貴重な財産になっています。

今後、これまでの経験で培った海外事業の運営力を活かして、現在展開しているベトナム及び米国における事業をはじめとした海外鉄鋼事業の更なる拡大を図ってまいります。



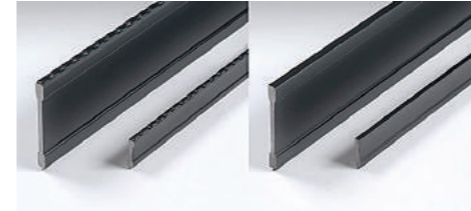
## 産業・社会基盤を支える 高品質な鉄鋼製品群

強度や耐久性などさまざまな条件をクリアし、建設現場などで高い評価と実績を積み上げてきた高品質な製品群。充実した品種やサイズ・鋼種をラインアップし、高付加価値品の開発や切断・塗装などの二次加工など、ユーザーの多様なニーズにお応えしています。



Iバー

住宅地などの溝ふた（グレーチング）として最適なIバー。滑り止め加工された人にやさしい形状のIバーも開発・製造するなど、その実績は国内トップクラス。プラントの通路、階段、クリーンルームの床張りなどにも使用されています。



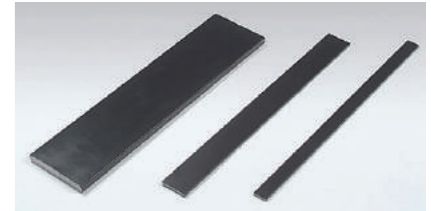
構造用棒鋼

大型建機、ボルト、工具類の部材など多様なニーズに対応する汎用鋼材です。用途や目的に合わせて高付加価値品も生産可能。自動車部品などにも使用されています。



平鋼

造船材をはじめ各種産業機械・鉄骨構造物や自動車部品、介護用ベッド、ナット、ワッシャーに至るまで幅広く使用されています。



鉄筋コンクリート用棒鋼（異形棒鋼）

「タフコン」と総称される強く扱いやすい鉄筋コンクリート用棒鋼は当社の主力製品です。品質の高さを評価され、高層ビルや原子力施設にも採用されています。強度・抗張力・疲労強度・コンクリートへの付着性を向上させ、鉄筋コンクリート用棒鋼に要求される全ての条件を満たした製品となっています。D10～D51のフルサイズを生産。



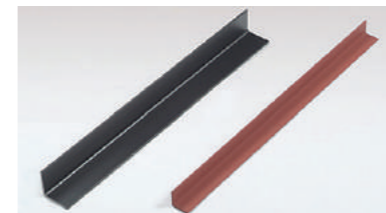
ネジ節鉄筋・ネジ節鉄筋継手

「タフネジバー」は、高層建築や道路・鉄道橋脚をはじめ、鉄筋をつないで造られるあらゆる構造物に対応する高強度ネジ節鉄筋です。鉄筋接合作業を容易にし、品質の向上や工期短縮の実現を図り、RC造（鉄筋コンクリート造）建築の一層の高層化を実現しています。



等辺山形鋼（アングル）

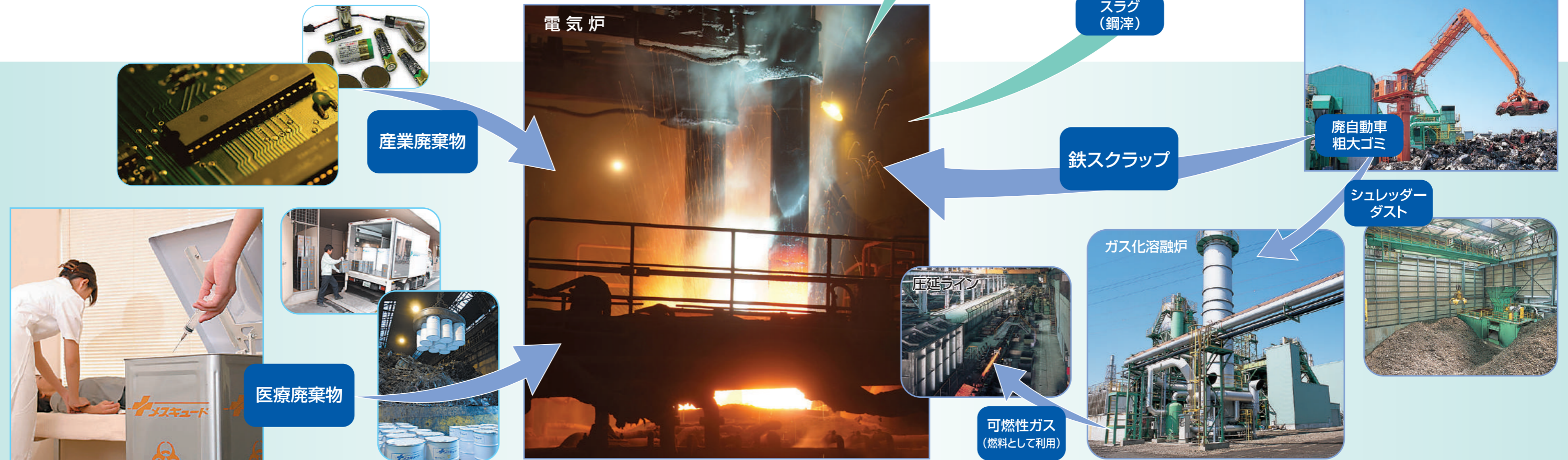
建造物の補強や受け枠、工場施設や機械類の部材と、幅広い用途に対応します。強度と抗張力に優れ、歪みがなく、加工性も抜群です。防錆塗装のカラーアングルも充実しています。





## 電気炉をコアとした総合リサイクルシステムで時代が要請する環境保全ニーズに応えます

電気炉の稼働時には3,000～7,000℃のアーキ熱が発生します。この熱を有効利用しようという発想からスタートしたのが私たちの環境リサイクル事業です。処理の難しい感染性医療廃棄物をはじめ、さまざまな産業廃棄物を安全かつ適切に完全無害化溶融する処理方法を独自に開発。アスベストの溶融処理や、近年では炭素繊維(CFRP)の処理を安定的に行うため、新しい破砕機を導入(山口事業所)したほか、フロンガスの破壊処理や管理型最終処分場での産業廃棄物処理も行うなど、電気炉をコアに多種多様な廃棄物を安全・確実に処理する、一所完結型の総合リサイクルシステムを展開しています。



### 【 培われたノウハウと技術でさまざまな産業廃棄物を安全・確実に処理 】

電気炉は、あくまでも鉄を生み出すためのもの。鋼材の品質を保ちつつ、種々雑多な素材が混在する産業廃棄物を安全かつ適正に処理するには、綿密な管理と確かな技術が必要です。私たちは、早くから産業廃棄物処理を手掛け、そのノウハウを蓄積してきました。電子部品や電池類、企業の製品開発に関わる機密性の高い廃棄物など、取り扱いの難しい産業廃棄物を数千度の熱で溶融処理し、再利用可能な資源として甦らせています。

### 【 電気炉の高熱を利用する医療廃棄物処理の安全管理システム「メスキュード」 】

医療機関から排出される医療廃棄物の総量は年間約6万トン。これの中には人体に危害を及ぼす恐れのある注射針や薬剤容器などが含まれています。通常の焼却処理では、廃棄物の選別や分別といった煩雑な作業が必要であり、また、菌の残存や有害物質の発生、針刺し事故などの危険もはらんでいます。共英製鋼グループは、契約医療機関に専用容器を設置し、容器ごと回収した上で、電気炉で完全無害化溶融処理を行うメスキュードシステムを開発、全国的に展開しています。

### 【 ガス化溶融炉による完全リサイクル+燃料ガス製造 】

私たちは2005年の自動車リサイクル法施行を前に、2004年、山口事業所内に新鋭のガス化溶融炉(ガス製造施設)を建設し、電気炉による溶融処理を補完する独自のリサイクル事業をスタートさせました。これは、廃自動車や粗大ゴミを大型シュレッダーで破砕してスクラップ(鉄、非鉄)とダストに分別し、再利用するものです。鉄スクラップは電気炉で溶解、ダストからはガス化溶融炉でクリーンな燃料ガスを製造し、圧延工程で利用。そして処理時に発生するスラグ(鋼滓)は路盤材として再利用する、効率の良いケミカル・リサイクルシステムです。

### 【 一貫した処理体制が可能にした効率のよいリサイクルシステム 】

■フロンガス類破壊処理  
山口事業所と枚方事業所では電気炉の高温を利用し、エアコンや冷凍冷蔵機器の冷媒として使用されるフロンガスの破壊処理を行っています。他の破壊施設で敬遠されるSF6やPFCのほかハロンガスの処理も可能で、地球温暖化防止に貢献しています。

■管理型最終処分場  
山口事業所に広大な管理型最終処分場を所有し、処分対象とする廃棄物の内容を厳密かつ適正に審査した上で、適切に最終処理(埋め立て)しています。



### 山口事業所

中国・四国・九州地区の拠点。フルサイズの異形棒鋼、構造用棒鋼、平鋼、Iバー、等辺山形鋼と、多品種・多サイズを生産。また、メスキュードシステムを開発するなど、産業廃棄物処理にも早くから力を入れています。ISO9001、14001取得。山口県山陽小野田市



### 枚方事業所

関西地区の拠点。公害防止のためのクローズドシステムを採用した細物棒鋼専用工場。地下トンネル、圧延レベーターなど限られた敷地を活かした設備を保有。異形棒鋼、丸鋼、構造用棒鋼を生産。環境リサイクル事業も行っています。ISO14001取得。大阪府枚方市



### 名古屋事業所

中部地区の拠点。日本初のスクラップの連続予熱・装入が可能なコンスチールシステムを導入。フルサイズの異形棒鋼の他、多様な社会のニーズに合わせた高強度ネジ鉄筋の製造・販売及び環境リサイクル事業にも取り組んでいます。開発センターにて、グループ全社の技術を開発しています。ISO9001、14001取得。愛知県飛島村



### ビントン・スチール社

米国テキサス州西部エルバソ郡に位置し、1964年にボーダースチールとして設立。2016年12月に買収。年産25万トンの製鋼圧延一貫工場。異形棒鋼、鉱山向け鉱石粉砕用鉄球を生産。ISO9001取得。米国 テキサス州  
<http://www.vintonsteel.com/>



## 全国の主要地域で資源循環型事業を展開

私たちは、それぞれの地域で発生した鉄スクラップを再生し、それぞれの地域へ鉄鋼製品として供給しています。需要に合わせて鋼材をつくり、ユーザーのご要望にしっかりお応えすること、それが「マーケット・ミル」と称する当社のビジネスモデルです。私たちは関東、中部、関西、中国・九州の4地域を拠点とし、各地域に工場を保有。マーケットの特徴や動向を把握し、きめ細かな事業活動を展開しています。



### ベトナム・イタリー・スチール社

ベトナム北部、首都ハノイ市の南東約30kmに位置し、国営ソンダー総公社の子会社として2002年に設立。2018年5月に連結子会社化。本社のフンエン工場に圧延ライン（年間生産能力30万トン）およびハイフォンに製鋼工場（年間生産能力45万トン）を有し、半製品、異形棒鋼、線材を生産。ISO9001取得。ベトナム フンエン省  
<http://vis.com.vn/vn/>



### 中山鋼業株式会社

当社と合同製鐵㈱が同率出資する関連会社。ピレットのほか、最新の無加熱圧延技術を導入し異形棒鋼、丸鋼、ネジ鉄筋など多品種を生産、産業廃棄物処理事業にも取り組んでいます。ISO9001取得。大阪市西淀川区  
<http://www.nspweb.co.jp/>



### 関東スチール株式会社

関東地区の拠点となる連結子会社、1994年設立。異形棒鋼、構造用棒鋼を生産し、産業廃棄物処理事業にも取り組む等、地域リサイクルの中核会社を目指しています。ISO14001取得。茨城県土浦市  
<http://www.kantosteel.co.jp/>



### ビナ・キョウエイ・スチール社

ベトナム南部ホーチミン市の南東約70kmに位置し1994年設立、1996年より商業生産を開始した合併会社。同国における鉄鋼事業投資第1号として成功を収め、強い顧客基盤とブランド力を有しています。2015年より新ラインが稼働し、年間生産能力は85万トン。異形棒鋼、丸鋼、平鋼、形鋼、線材を生産。JIS認定工場、ISO9001、14001取得。ベトナム ハリアー・ブンタウ省  
<http://www.vinakyoeisteel.com.vn/>



### キョウエイ・スチール・ベトナム社

ベトナム北部、首都ハノイ市の南約100kmに位置し、2012年3月より操業開始。現地メーカーから譲り受けた圧延ライン（年間生産能力30万トン）で異形棒鋼、線材を生産。ISO9001取得。ベトナム ニンビン省  
<http://ksvc.com.vn/>



鉄鋼事業・環境リサイクル事業をさまざまな角度からサポートしている  
共英製鋼グループの関連会社です

共英産業株式会社

産業廃棄物処理、再生製品の販売のほか、鉄筋加工事業も行うなど幅広く事業を展開。また、高度化する土木建設工事に対応した土木・緑化資材も提供しています。大阪府枚方市  
<http://www.kyoeisangyo-ltd.co.jp/>



共英リサイクル株式会社

ガス化溶融炉（ガス製造施設）、シュレッダーマシンを備え、廃自動車をはじめ産業廃棄物の完全リサイクルに取り組んでいます。山口県山陽小野田市  
<http://www.kyoei-recycle.com/>



株式会社共英メソナ

共英製鋼の運輸部門を担う専門会社として誕生し、鉄鋼関連物流の分野で実績を蓄積。またメスキュードシステムにおける回収・運搬・処理をトータルにサポートします。ISO14001取得。大阪府西淀川区  
<http://www.kyoei-mesona.co.jp/>



共英加工販売株式会社

2005年、山口事業所加工品部を分社化し設立。溶接金網・溶接フープなど鋼材の加工と販売を行っています。山口県山陽小野田市



株式会社堺リサイクルセンター

2014年3月に事業譲受により設立。共英製鋼のグループ会社として鉄屑集荷・加工・販売業および産業廃棄物処理業を行っています。大阪府堺市  
<http://www.sak-rc.co.jp/>



株式会社吉年

2018年2月に事業譲受により子会社化。ネジ鉄筋用の継手をはじめとした鋳物製品の製造・販売を行っています。大阪府河内長野市  
<http://www.yodoshi.co.jp/>



チー・バイ・インターナショナル・ポート社

当社グループのベトナム南部における物流拠点として2018年1月に開港。VKS社の他、鉄鋼関連企業の貨物を中心に取り扱い一般港です。ベトナム バリア・ブントウ省



ピナ・ジャパン・エンジニアリング社

1996年1月に現地の鋳物会社との合併により設立。フォークリフト、工作機械用の部品をはじめとした鋳物製品の製造・販売を行っています。ベトナム ハイフォン市  
<http://www.vje.com.vn/>



ものづくりに懸ける心と技。鉄に懸ける夢とバイタリティ。  
そして、斬新な発想と独創的な技術。  
電炉業の新しい道を切り拓いてきた共英製鋼の歩みは  
チャレンジの歴史です。  
豊かな社会を築くために、  
人々の暮らしをより快適なものにするために、  
私たちは立ち止まることなく、  
未来に向かってダイナミックに挑戦を続けます。

社会貢献活動

社会への利益還元にも積極的に取り組んでいます

「社会あっての企業、社会から得た利益は再び社会に還元すべき」との想いから、共英製鋼グループは社会貢献活動に取り組んでいます。また、近年CSR（企業の社会的責任）への関心が高まっており、企業を取り巻くさまざまな立場の方々との双方向コミュニケーションを通じて社会的信頼を得る社会貢献が期待されております。

このような当社方針と社会的要請に応えるべく、国際親善、地域社会、環境保全、産学協同、災害復旧、学術研究、社会福祉等に幅広く支援活動を実施しております。

また、医療廃棄物処理に携わる企業として、2003年に「メスキュード医療安全基金」を設立して以来、医療技術の開発など医療に携わる人々をサポートし、医療機関を利用される多くの方々の安全と健康の向上を支援しております。



日本・ベトナム育英会第10期奨学金授与式であいさつする  
当社 名誉会長(2003年11月8日)



第1回「メスキュード医療安全基金」贈呈式で坂口力 厚生労働大臣  
(当時)にあいさつする当社 名誉会長(2003年5月19日)